３　本時の学習

1. 展開（目標を含む）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 児童生徒名 | | | 児童生徒A | 児童生徒B | 児童生徒C |
| 本時の目標 | | | 友達の話を聞いて、自分と同じか違うか比較し、適切に相槌をうつ等することができる。 | ・活動に見通しを持ち、スムーズに活動を切り替えることができる。  ・自分の気持ちやその変化を、教師の支援を受けながら、他者に伝えることができる。 | 活動に見通しを持って参加し、自分の気持ちをYES-NO、または自分の言葉で答えることができる。 |
| 過程 | 時間 | 学習活動 | 手だて及び指導上の留意点  （学習活動の目的・意図、方法、教材・教具等） | | |
| 導入 | １０分 | １ それぞれワークシートの「今の気持ち」の段階にシールを貼り、今の気持ちを確認する。  ・自分の今の気持ちに気付くことができるよう、「～の気持ちなんだね」と同意し、理由を考えたり尋ねたりして、気持ちの確認をする。  ２ 前時の振り返り、学習活動・テーマを確認する。  ・本時の内容に期待感をもつことができるよう、前回の内容及び生徒ができていた部分を伝える。  ・めあてを意識することができるよう、声に出して読む。  ・個別の目標で、それぞれの学習の視点を確認する。  【みんなのめあて】  気持ちを相手に伝えよう、相手の気持ちを知ろう。 | ・気持ちが落ち込んでいるときは、理由を尋ね、生徒の気持ちを受け止めるようにする。  ・学習活動については、時系列を意識できるように、順番を提示する。  【めあて】  相手の話を聞いて、相手の気持ちを知ろう。 | ・選んだ気持ちと前後の活動などを結び付けて確認する。  ・学習活動については、時系列を意識できるように、順番を提示する。  【めあて】  自分の気持ちの変化に気付き、気持ちを相手に伝えよう。  ・スムーズな活動の切り替えができてきていることを評価し、本時もそれができるといいことを伝える。 | ・なかなか選べないときは、教師と一緒に考える等する。  ・欠席が多いので、適時説明を加え、見通しがもちやすいようにする。  【めあて】  自分が好きな物を選び、好きな理由を伝えよう。 |
| 展開 | １０分 | ３ 「新聞紙ゲーム」をする。  ○方法を聞く。  ・活動内容について具体的に理解することができるよう、実際に手本を示す。  ・安全に活動することができるよう、机を移動するなど場所を確保する。  ○新聞紙を使ったゲーム活動を行う。  ・これまでに行ってきた新聞紙の活動を挙げ、実際に行う活動を一緒に決める。  ➢ じゃんけんで新聞紙  ➢ ちぎって長く  ➢ 丸めて的当て  ・それぞれに１枚ずつ新聞紙を配る。  ・勝ち負けにこだわらないように、再度めあてを確認する。  ・次の活動にスムーズに移ることができるよう、終わる時間を設定し、事前に予告する。  ・自分の気持ちの変化に気付くことができるよう、ゲーム後に今の気持ちを尋ね、共感の言葉を掛ける。 | ・勝ち負けではなく、自分の気持ちがどうなったか、相手の良かった部分についても尋ねるようにする。  ・気持ちの変容に気付くことができるよう、最初に貼ったシールと違う色のシールを渡し、貼るよう促す。 | ・気持ちを切り替えることができるよう、終わりを明確に伝える。  ・身近な物を使って気持ちの切り替えができる方法があることを伝え、表情に応じて言葉を掛ける。  ・気持ちの変容に気付くことができるよう、最初に貼ったシールと違う色のシールを渡し、貼るよう促す。  ＜評価＞（言動）  次への活動がスムーズに切り替えられている。 | ・自分自身の気持ちに気付くことができるよう、活動の前後に気持ちを尋ね、選んだり言語化したりする。  ・気持ちを切り替えることができるよう、終わりを明確に伝える。  ・気持ちの変容に気付くことができるよう、最初に貼ったシールと違う色のシールを渡し、貼るよう促す。 |
| １５分 | ４ 「どっちが好き？」に取り組む。  〇ルールを確認する。  ・活動内容を再度確認することができるよう、ルールを読む。  ・友達同士での言葉掛けを意識することができるよう、「嬉しい言葉、嫌な言葉」などについて一緒に確認する。  〇「どっちが好き？」の内容を行う。  ・選択しやすいよう、また理由を答えやすいよう、具体物や写真を提示し、選択するよう促す。  ➢ 赤ペンと青ペン  ➢ クマのぬいぐるみとヒーローもの  ➢ リンゴとミカン  ➢ 寿司とハンバーグ 他  ・考える時間を十分にとり、それぞれが決まったことを確認して、せーの」の声掛けで好きな方を指差しして、意思を示すことができるようにする  ・友達と同じところ、違うところに気付くことができるよう声掛けをする。  ・選んだ理由を相手に伝えることができるよう、教師も同じ合図で選び、選んだ理由を伝えるなどして、モデルを示す。  ・相手の気持ちに気付くことができるよう、友達が発表する際は友達に注目するよう促す。  ・客観的に言動を振り返ることができるよう、電子黒板に言葉を書き出す。 | ・相手の発言の途中で話をしようとするときは、話を最後まで聞いて発言するよう促す。  ・相手の発表後に相手が話したことを尋ね、どう思ったかを確認する。  ＜評価＞（言動）  ・相手の意見を聞いて、自分の意見を発表しようとしている。  ・相手の発表後に相槌などの返答をしようとしている。  ・相手に共感したことや意見を聞いていたことに気付くことができるよう、相槌などが見られた際には、生徒の行動を言葉として返す。 | ・発言した際に声が小さかったり、聞き取りにくかったりした際には、教師が間に入って発言内容を再度グループの友達に伝える。  ・気持ちを表したことを共感し、称賛する。  ＜評価＞（言動）  ・友達の気持ちと「同じ」や「違う」を受けて、自分の気持ちの変化を感じている。 | ・適切な伝え方につながるよう、話した理由を肯定的に受け止め、返す。  ・相手の気持ちに気付くことができるよう、友達が選んだ物について理由を聞くよう促す。  ＜評価＞（言動）  ・複数の選択肢から、自分が好きな方を選び、伝えようとしている。  ・相手の話を聞いて、自分の気持ちを伝えようとしている。 |
| 終末 | １０分 | ５ 振り返りをする。  ○ワークシートを用いて、「今の気持ち」を振り返る。  ・自分の気持ちの変容に気付くことができるよう、選択した気持ちについて共感し、選択した理由を尋ねる。  ・友達への理解が深まるよう、自分自身だけでなく友達のことで気付いたことも書き出すよう促す。書くことが難しい生徒については、個別に意見を聞く。  ・全体で気持ちを共有することができるよう、授業を通してよかったところ等を伝える。  ６ 次時について知る。  ・次回の学習についての見通しをもつことができるよう、活動内容を伝える。 | ・自分だけでなく、友達のことについてどう思ったかを聞き、相手への気付きを促す。  ＜評価＞  （ワークシート、言動）  ・授業の中で友達の様子を思い出して気付きなどを書きだす等している。 | ・教師とやり取りしながら自身の気持ちの変容に気付くよう促す。  ＜評価＞  （ワークシート、言動）  ・「今の気持ちに」にシールを貼り、授業内での気持ちの変容を表そうとしている。  ・言葉や文字で授業を受けての気持ちをまとめようとしている。 | ・教師とやり取りをしながら気持ちを聞き、自分の言葉でまとめるよう促す。  ＜評価＞  （ワークシート、言動）  ・自分の気持ちをグラフや自分の言葉で表現できている。 |